

11月の植物 ウラギク *Aster Tripolium* L.

秋たけなわのこの季節、キク科の植物が賑やかです。花の色は白から黄色、薄紫色と多彩で、生育地も海から山まで広範囲です。特に薄紫色の花弁をもつヨメナの仲間をよく目にします。平地の路傍にはヨメナ、山地にはノコンギクやオオユウガギクが生えます。高地の草原にはヤマジノギク、海岸にはハマベノギク、潟にはウラギクが生育しています。

今回はウラギクを紹介します。海岸の塩分を含む湿地に生える越年草でときどき大群落をつくります。日本全国に分布しますが、佐賀県では有明海や伊万里湾の河口などの潟地にみることができます。花期は10月から11月です。全体に毛はなく、葉は細長くへら状で、海岸の植物らしく厚ぼったい感じをしています。莖も太く上の方で枝分かれして数個の薄紫色の花を咲かせます。蕾の時は濃い赤紫色をしています。別名はハマシオン（浜紫苑）で和名のウラギク（浦菊）とともに名前は海岸に生えることに基づいています。



芦刈海岸（小城市芦刈町）2016.10.20